

シルバー ながの



公益社団法人
長野県シルバー人材センター連合会
〒380-0841 長野市大門町51番地1
TEL 026-237-4680 FAX 026-237-5665



光前寺通りの スイセン(水仙)

県下屈指の大寺で国の名勝に指定されている、駒ヶ根高原の『光前寺』。この光前寺に向かう道路脇や休耕田には、春になると一面にスイセンの花が咲き誇ります。

30年ほど前に地元の農事組合の皆さんが球根を植えたのが始まりで、植え続けた球根の数は、およそ28万球。それが増殖もし、広まった今では『一目200万本』といわれるほど多くのスイセンが開花するようになりました。

種類も豊富で、早咲きの「アーリーセンセーション」や「フラインベル」をはじめ、100種を超えるスイセンを見ることができます。開花時期は3月下旬から4月中旬頃までと長く、白銀の中央アルプスをバックに黄色や白のスイセンを撮影できるスポットとして人気です。地元のみならず、県外からも多くのカメラマンが訪れます。

光前寺の春を彩るのはスイセンだけではありません。境内にはおよそ70本を超えるしだれ桜が植えられており、開花期間中はライトアップが行われます。昼間とは全く違った幽玄な姿のしだれ桜は必見です。

美しく咲き誇る駒ヶ根の花々が、皆様のお越しをお待ちしております。

写真・紹介文提供

駒ヶ根市 商工観光課

問合せ 0265・96・7724

令和6年度 高齢者活躍人材確保育成事業

シルバー人材センターについて積極的に周知・広報をする、実際の就業体験を通じて高齢者、企業等双方のセンターに対する理解を深めてもらう、高齢者がセンターに興味を持ち自信をもって就業できるように必要な技能講習を行うといった活動を通じて、センターの新規会員の拡大、また、新たにセンターを活用する企業等の増加を目指し、積極的に事業に取り組みました。

庭木剪定講習を受講して

茅野市会場 伊東 秀樹

一、日程

令和6年6月24・25・26日(3日間)

二、場所 茅野市運動公園

三、講習内容及び感想

座学では、基本的な造園、剪定作業に対する心構え、道具類の使い方や管理方法、そして、作業中の安全対策についての話を聞いた。特に脚立の取り扱いについては、転落事故の心配も多く、細心な注意の必要性を感じた。実際に、実技講習中もどの先生からも脚立の適正使用の注意喚起があり、安全への配慮を第一に作業を進める事が大切である。

実技講習においては、刈り込みバサミを使った、生垣やツツジの玉物の刈り込みを行った。植物に対しての自分の体の位置取りやバサミの動かし方など、基本的なことが体験でき勉強になった。また、仕

上がりは天の面をキレイに見せると全体の印象が良くなると言われ、改めて見てみるとその意味が実感として理解できた。



▲ 庭木剪定講習 (茅野市会場)

二日目には、松やモミジなど代表的な樹種の剪定やその方法を体験させてもらった。切る枝と残す枝の見分け方、残す枝の切る位置など、基本は理解しつつも、将来の樹形のイメージを描いて剪定するので、息の長い作品作りのように感じられる。

近年の猛暑により、モミジなど樹種によつては以前より2割程度多く枝を残し、葉焼けを防ぐようになった、という話もあり、環境の変化に剪定作業も対応が求められるようになったようだ。

今回、3日間の講習を通し樹木に関わ

るのは、本当に奥深い魅力ある仕事だと感じられた。まだ、ほんの入り口に過ぎず、もっと多くの経験と知識が必要だが、今回の講習参加をスタートとして、社会とのつながりに生かしていけたらと思う。充実した講習を実施していただいた講師の先生方、シルバー人材センターの関係者の皆様に感謝申し上げます。

家事援助講習

お掃除講座2を受講して

千曲市会場 高本 町子

自分なりに毎日行なっている掃除ですが、もっと効率よく綺麗になる掃除方法があったら是非知りたいと思い講座を希望しました。

- ・日頃のままめな掃除が大切なこと。
- ・場所に合った洗剤の種類や洗剤濃度を守る。
- ・スポンジの種類が多いこと、傷つけないで掃除する事も大切で、自分の掃除が間違っていた事も知れました。実際に実習する事で自分の家での掃除が楽になりました。

- ・予防の為のスキマガードや知らない道具を教えていただき是非使ってみたいと思っています。

これからは使ったらこまめに拭くを心掛けて溜めない掃除をしていきたいと思っています。

この講座に参加出来て本当に勉強になりました。ありがとうございました。



家事援助講習の実技風景 (千曲市会場)



「庭木剪定講習」を受講して

佐久市会場 高畑 かつよ

シルバー入会説明会の日、今回のパンフレットをいただきました。私は、庭に木や花を植えたりとガーデニングなどで好きで、土いじりをしています。庭木の手

入れは昔、父の様子を見て覚えた自己流です。今回本職の方に指導をいただけるチャンスだと、さっそく申し込みました。

室内での座学では、松やもみじなど枝を使つてのハサミの入れ方、芽の止め方、枝の整理、紐の結び方など何事も初めての私達にとっても丁寧に指導していただきました。一番難しい松の手入れから勉強、専門的な技術にびっくりする事ばかりでした。そして、公園での実技では、先生の「松も一本一本、木の性質も違うので、まず木と話をする。そして、木に聞いてみる。そうすると、おのずと、この枝は残す、これはカットする、と答えは出る」と、この言葉が一番心に残りました。

枝の様子を見ながら、ハサミを使い、この枝はどうしたら良いのかと一つ一つ先生に教えていただき、剪定を進め、サツパリと整った松を見上げた時「ヤッター」とウキウキし、とてもうれしかったです。松の手入れが中心でしたが、とても短期で修得出来る技術ではありませんが、これからも勉強し、この機会に恵まれ、教えていただいた技術を、今後、シルバーでの活動に生かし、剪定を依頼して下さる方々の期待に応え、「頼んで良かった」と、喜んでいただける、庭の手入れが出来たらと思っています。

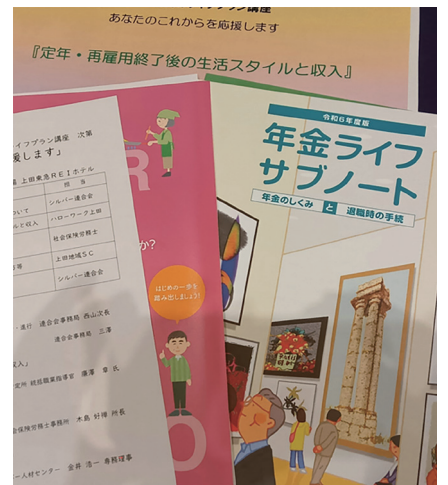
私自身、今後も、それぞれの季節のガーデニングを楽しみながら、木や土と触れ合っていける人生だと、良いなーと思っています。先生、皆様、ほんとうに、ありがとうございました。



▲ 講習最終日に事務局からシルバー人材センターのご案内(佐久市会場)



▲ お掃除講習の合間に体操(須坂市会場)



シニア世代のライフプラン講座
上田市会場

令和6年11月20日、上田市の上田東急REIホテルにおいて、シニア世代のライフプラン講座「あなたのこれからを応援します」が開催されました。

開会の挨拶の後、高齢者活躍人材確保育成事業についての説明をさせていただきました。続いて上田公共職業安定所の廉潔一括職業指導官から「定年・再雇用終了後の生活スタイルと収入」と題して、上田管内の雇用情勢の説明やシニア層に向けた期待についてお話をいただきました。

休憩後、社会保険労務士事務所の木島所長から「定年後の生活設計を考える」と題しての講座がありました。講座では、年金、雇用保険、健康保険、税金等の面から定年後の生活についてイメージできるような説明があり、キャッシュフローの一例を交えながら定年後のライフプランの立て方について説明をいただきました。

当日の講座の最後には、上田地域シル

バー人材センターの金井専務理事から「シルバー人材センターでの働き方」について、説明をいただきました。個人の参加者をはじめ、企業の人事担当者の参加もあり、熱心に受講されました。



▲ シニア世代のライフプラン講座(上田市会場)





育成事業業務担当となつて

連合会 業務担当 三澤 麻由美

令和6年4月から連合会で育成事業を担当させていただいています。前職は、長野市の第二地区で生活支援コーディネーターとして地域住民の皆さんと共に地域コミュニティを活性化すべく努めていました。

「シルバー人材センター」の最初の印象は、身近なところでは駐車場での案内や公園管理、スロープでのカート整理、屋外での樹木の剪定や草取り等、いわゆる「縁の下の力持ち」の姿が浮かびました。勤め始めてから、先の業務以外にも、一般事務や受付業務、屋内外の清掃や工場での軽作業、お墓の掃除等々：多岐にわたる仕事内容があることにまずは驚きました。

12月に長野センターの入会説明会にお邪魔させていただきました。現会員さんと交流する機会がありました。その時お会いした女性会員さんは、「駐車場案内を初め

てやったけれど、意外に面白かった。初めてのことでも、やってみたらできることってあるのよね」とお仲間や職員さん方と軽やかに話しており、いくつになってもチャレンジする心と行動力がご自身を輝かせるのだなと改めて感じました。

育成事業は、働きたいシニア世代と働き手を求める企業等に、シルバー人材センターへの理解を深めていただくため、周知・広報、就業体験、技能講習の3つの柱を掲げ、県内に21あるセンターと連携を図りながら事業を進めています。

今年度は業務の中で、初めて訪れた地域と職員の皆様、講師の皆様、講座等に参加する方々にお会いすることができ、ひとつひとつ経験させていただけたことに感謝申し上げます。これからも、一人でも多くの方にシルバー人材センターを知っていただき、ご縁を結んでいただけるよう微力ながら努めていきたいと思えます。

今後ともどうぞよろしく願っています。



令和6年度 高齢者活躍人材確保育成事業実施状況

(令和7年1月末日現在)

センター名	講座名	実施月	日数	定員	申込者	参加者	未会員数	定員充足率	修了者	新規入会者	就業者数	入会率	
長野	庭木剪定講習	10	3	10	6	6	4	60.0%	6	1	3	25.0%	
松本地域	スマートフォン活用術講習	1	1	15	14	11	8	73.3%	11	2	1	25.0%	
更埴地域	植木剪定初心者講習会	7,9	2	10	9	9	5	90.0%	9	4	8	80.0%	
	家事援助講習	7~10	4	10	26	25	10	250.0%	25	10	13	100.0%	
	加工用トマト収穫体験	7	1	5	7	7	5	140.0%	7	1	3	20.0%	
飯田広域	スマホ活用術講習	9	1	10	15	13	5	130.0%	13	3	9	60.0%	
茅野広域	庭木剪定講習	6	3	10	9	9	6	90.0%	8	1	3	16.7%	
佐久	庭木剪定講習	10~11	4	8	12	10	8	125.0%	10	3	0	37.5%	
諏訪市	健康食と郷土料理講習	9	1	10	9	9	3	90.0%	7	0	5	0.0%	
上田地域	庭木・庭園管理講習	9~10	4	15	9	9	4	60.0%	9	1	6	25.0%	
	シニア世代のライフプラン講座	11	1	40	28	25	11	62.5%	25	0	6	0.0%	
北アルプス広域	企業説明会	11	1	参加企業・団体 15、参加者49名							2		
小諸北佐久	刃物研ぎ体験	9	1	10	11	11	4	110.0%	11	1	6	25.0%	
伊那広域	シニア世代のライフプラン講座	11	1	15	9	8	7	53.3%	8	4	4	57.1%	
須高広域	介護入門基礎講習	10	1	10	11	11	1	110.0%	11	0	9	0.0%	
	暮らしに役立つお掃除講習	11	2	10	13	12	2	120.0%	12	0	10	0.0%	
安曇野	スマホ活用術講習	11	1	15	19	15	15	100.0%	15	1	1	6.7%	
木曾	スマホ活用術講習(大桑村)	8	1	10	7	7	4	70.0%	7	0	3	0.0%	
	スマホ活用術講習(木祖村)	10	1	10	5	5	2	50.0%	5	0	3	0.0%	
	スマホ活用術講習(上松町)	10	1	10	10	10	5	100.0%	10	3	7	60.0%	
合計					233	229	212	109	91.0%	209	37	100	33.9%
※市町村広報・新聞・テレビ・チラシ等(入会動機に関するアンケートによる)										486			
										523			

安全・適正就業推進大会 茅野市にて開催

10月28日、令和6年度安全・適正就業推進大会が茅野市民館コンサートホールにおいて開催されました。当日は、各センターの安全・適正就業推進委員など約150名の参加の中、連合会酒井会長はあいさつの中で、「安全標語への応募を通じて多くの会員の皆さまが安全就業について改めて考える機会を持っていただけたことは、標語募集の効果の一つでもあり、取り組んでいたいただいた各センターの方々、また応募をいただいた皆様に御礼申し上げ、会員の皆さまが事故無く、健康で働くことができるよう今後も皆様の地道な粘り強い取り組みをお願いします。」と話されました。



▲ 酒井会長挨拶

安全標語・最優秀賞は

長野SCの樋口周平さん

応募総数677点の中から、外部審査員を交えた審査の結果、長野シルバー人材センターの樋口周平さんの作品が最優秀賞に選ばれ、他の入賞者と共に、本大会において酒井会長から表彰状が贈られました。

令和6年度

「安全・適正就業標語」入賞作品

最優秀賞 長野SC 樋口 周平

「慣れてなお 守る基本が 身を守る」

優秀賞 中野広域SC 永井 梓

「安全は 任せず 頼らず 自分から」

佳作 松本地域SC 仲田 憲義

「出来たはず その過信が 事故のもと」

佳作 阿南広域SC 佐々木 義長

「そのヒヤリ あなたに教える 危険の芽」

佳作 佐久SC 篠原 満

「今日の無事 安全意識あればこそ」



▲ 安全標語の表彰式

続いての講演では、株式会社明治の管理栄養士片岡永恭さんから

楽しく健活セミナー

「カラダは 食べた物からできている」

〜元気な人生 100年のためのヒント〜

と題して講演をいただきました。

片岡さんは、株式会社明治の関東支社にご在籍で、管理栄養士として食育セミナーをご担当されており、現在は長野、群馬、栃木、新潟の4県をご担当され、講演等で広くご活躍をされております。

講演ではフレイルのお話から始まり、「噛む」「唾液」「飲む」の食べる機能の良い循環、バランスの良い食事、適度な運動の大切さについてお話をいただきました。



▲ 楽しく健活セミナー



管理栄養士の片岡さん

大会の後半では、全国シルバー人材センター事業協会の表彰規程に基づき、本年度県内センターから表彰を受けた2センターの事務局長さんから、賞を受賞してと題してセンターにおける安全就業の状況等についてお話をいただきました。

優秀賞を受賞して

駒ヶ根伊南シルバー人材センター
専務理事・事務局長 平岩 肇氏

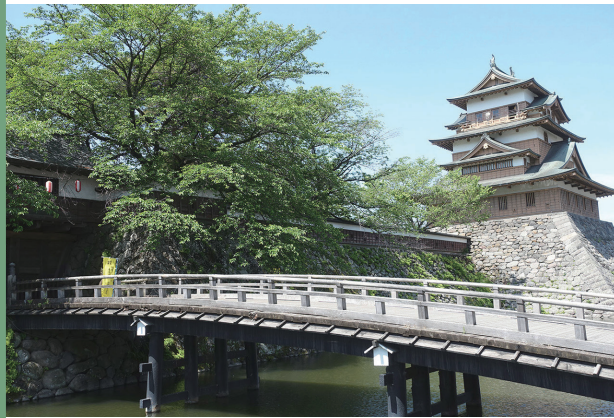
優良賞を受賞して

飯田広域シルバー人材センター
専務理事・事務局長 竹内政弘氏

公益社団法人
諏訪市シルバー
人材センター

〒392-0021
諏訪市上川一丁目1516番5号
TEL 0266-57-1388
FAX 0266-57-1386
E-Mail: suwa@sjc.ne.jp

- ・理事長 平林 正孝
- ・副理事長 関 貞樹
- ・専務理事・事務局長 前澤 由美子
- ・法人設立 昭和63年2月23日
- ・構成市町 諏訪市
- ・会員数 334人(令和6年12月末現在)
- ・契約金額 215,767千円(令和5年度実績)



高島城

シルバーだより



SUWA

諏訪市の概要

諏訪市は長野県のほぼ中央に位置し、諏訪湖や霧ヶ峰、高島城や諏訪大社など、自然と歴史にあふれた街です。

毎年八月十五日に全国でも有数の規模の諏訪湖祭湖上花火大会が開催され、大勢の観客で湖畔は埋め尽くされます。

また、温泉に恵まれ、多くのホテルや旅館が建ち並び、霧ヶ峰には高山植物が咲き誇っています。

町並みには高島藩の城下町の面影が残り、片倉館はじめ昭和ロマン漂う近代建築も数多く残されています。

センターの概要

また諏訪大社上社本宮と前宮があり、神話時代からの悠久の歴史が感じられます。7年目ごとに行われる天下の三大奇祭御柱祭は、全国的に有名で、その歴史は桓武天皇の時代までさかのぼると伝えられています。諏訪地方の6市町村の氏子たちがこぞって参加し、多くの観光客も訪れます。御柱年は、大社だけでなく地区にある小宮や親せきの集まりなどで大小様々な御柱が行われ、諏訪地域は御柱一色となります。

当センターは諏訪市単独のセンターで、契約金額・会員数・職員数とも少

ない小規模なセンターです。小規模だからその良さはありますが、独自事業には手を付けられない状況です。近頃は、地区の草刈りや行事の交通整理を依頼されることも増えてきました。また、雪かきの

依頼もあり、地域の人口減少、高齢化の影響が深刻化していることが窺えます。今後ともシルバーの目的である地域貢献を果たしていけるよう努力していきたいと思っております。

地域・活動の紹介

立石公園



高島城公園奉仕作業



諏訪湖 四手網漁



剪定講習会



小宮御柱



事故防止講習会



公益社団法人
阿南広域シルバー
人材センター



ユネスコ無形文化遺産「新野の盆踊り」

〒399-1504

下伊那郡阿南町西条2333番地1

TEL 0260-31-1171

- ・理事長 熊谷 勝治
- ・副理事長 金田 敏道
- ・常務理事・事務局長 久保田 文智
- ・法人設立 平成13年3月9日
- ・構成町村 阿南町 売木村 下條村
天龍村 泰阜村
- ・会員数 293人(令和6年12月末現在)
- ・契約金額 129,255千円(令和5年度末実績)

シルバーだより



ANNAN

当センターは、県の最南端に位置し、愛知県と静岡県に隣接する自然豊かな地域で、天竜川の東西に位置しています。海抜300mから1,000m前後までの起伏に富む五町村で構成され、総人口約1万人、総面積約379km²、高齢化率37%〜62%、平均48%と超高齢化地域で、更には消滅可能性自治体として2町村が公表されました。

こういった地域ですが、当センターでは粗入会率が約6%と全国平均の1.6%に比べても高い水準を維持しています。

しかし、平成23年度をピークに、人手不足が顕著となり会員の減少が続いております。また、契約額においても順調に増加しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響によりここ数年減少傾向となっております。

近年のフリーランス法の制定に伴う契約方法の変更や公益法人制度改革等シルバー人材センター事業を取り巻く環境は目まぐるしく変化しておりますが、当センターでは令和7年度に設立25周年を迎えることとなりますので、これを機に再度会員拡大への取り組みを強化し、契約額においても一刻も早く新型コロナウイルス前の水準に戻るよう努力してまいります。

地域の概要

民族芸能の宝庫



下條村歌舞伎



和合念仏踊り

活動・地域の紹介



泰阜村樽木踊り



天龍村坂部の冬祭り

話は変わりますが、以前も紹介させて頂きましたお祭りについて、当センター管内には、民俗芸能の宝庫と言われ、室町時代から受け継がれておりますお祭り等が数多くあり、国の重要無形民俗文化財に指定されている物もあります。また、令和4年にはユネスコ無形文化遺産

「風流踊り」として阿南町の「新野の盆踊り」と「和合の念仏踊り」が登録されました。

各町村それぞれの地域に世代を超え受け継がれ、地域社会の中心として在り続ける貴重な行事、神事を後世へと受け継いで行くことの大切さを改めて感じております。興味のある方は是非一度当地域にお越し頂き伝統行事を肌で感じて下さい。

理事長・事務局長合同意見情報交換会 及び正・副理事長研修会 開催

本年度の理事長・事務局長合同意見情報交換会が12月10日、長野市の「ホテル信濃路」にて県内21シルバー人材センターの理事長・事務局長等46名が参加して行われました。

酒井連合会会長の挨拶に続き、「会員拡大の取り組みについて」、「退会抑制・就業開拓について」、「安全就業について」、「センター運営について」など12項目について熱心な意見交換が行われました。

午後からは、61名の参加を得て、正・副理事長研修が行われました。

酒井連合会会長の挨拶の後、(公社)大野市シルバー人材センターの山田歩弓事業課長、東文字総務課長を講師にお迎えして、「おおのを楽しむ独自事業の取り組み」く地域に愛されるシルバー人材センターを目指して」と題して講演をいただきました。



大野市シルバー人材センターは、令和5年度、独自事業の契約金額において、全国第一位(全国1,341団体中)の実績を上げています。講演の中では、大野市の概要、センターの特徴と独自事業の始まり、18の独自事業の内容などについて詳しく紹介していただき、活発に生き生きと活躍をされている会員の皆さんの姿が垣間見えてきました。

講演最後に多くの質疑応答があり、また、その後開催された交流会の場でも、講師を交えた意見交換が時間いっぱい続きま

した。



越前大野城と雲海

除草作業中の 飛び石事故 多発!!

飛び石事故事例

- ① 道路を挟んで向いの駐車場に止めてある車のリアガラスを割った。
：(24万円)
- ② 乗用草刈り機を運転し作業していたところ、芝生内に紛れ込んだ小石を巻き込みそれが飛散し建物のドアガラスに当たり破損。
：(27万円)

- ③ 交差点付近の歩道の石畳を草刈作業中、走行車両運転手からガラスが割れたと申し出があり確認したところリヤゲートガラスが破損していた。
：(9万円)

- ④ 庭の草刈作業中に飛散した石が隣家の車に当たりサイドガラスが破損し、側面にも傷がついた。防護ネット等の飛び石対策は講じていなかった。
：(31万円)

草刈作業での事故及び 飛散させた物による損壊の 事故をゼロにするために

- ① 十分な下見(危険予測)を行い少しでも危険と感じた場合はお断りする。
- ② 作業に適した保護具(安全帽・履物・手袋がね等)を正しく必ず着用する。
- ③ 複数人での作業体制を確立する。(事故を重大化させるリスクの低減)
- ④ 防護ネットなどの設置は必須とする。
- ⑤ 飛び石の少ない道具(低速上下刃逆回転ハサミ刈り草刈刃等)使用の推奨。
- ⑥ 地面の異物や障害物、小石を除去し、危険な所には、コーンなど目印にする。
- ⑦ 回転する刈刃が障害物や地面に当たって跳ね返るキックバックに注意する。
- ⑧ 作業する際は必ず車両等移動し、人が歩行中は一旦作業を中止する。
- ⑨ 草を5cm程度刈り残す。(発注者の了解を得る)
- ⑩ 傾斜地ではカマなどを使用する。段を設けるなど足場を確保する。確保できないのであれば請け負わない。
- ⑪ 各製品の点検をする。
- ⑫ 刈払機講習会の受講の必須化により技術、意識の向上を図る。

会員さんの中に、「いちいち飛散防止ネットをするのは面倒、なくても大丈夫」「どうせ保険で対応してくれるから」と思われている方はいませんか?飛び石が人に当たると可能性があります。たまたま人に当たっていないだけです。後悔しても間に合いません。このまま賠償保険金の支払いが多額になると保険財政が破綻し就業自体ができなくなる可能性があります。安全対策の徹底をお願いします。

刈払機での飛び石事故が多発しています。人に当たってしまったら大変です。必ず飛散防止ネットを正しく設置して作業してください。全シ協 ホームページ、会員専用ページ リニューアルサイト 動画一覧もご覧ください。



編集だより

今年、雪が少なくないと思っていたところ、2月中旬頃から各地でドカドカと大雪のニュースが流れ、それとともに、雪下ろし等に関連した事故の報道がありました。

シルバー人材センターでも除雪に関連した仕事を請け負っています。安全第一を心の中心に置きたいものです。

いわゆる「フリーランス新法」が令和6年11月に施行され、新法の趣旨を踏まえて、契約方法の見直し作業が始められています。会員・発注者への説明や、契約関係書類の整備、契約手続の変更に伴う業務処理方法の整理等、円滑な移行に向けた取り組みが求められています。その他にも、デジタル化の推進、会員の高齢化への対応、公益法人制度改革への対応等々、センターを取り巻く環境が新しい時代に向かっていきます。